



【ピックアップ特集：新しい 議会人事】

3月定例会の主な議題

第一回定例会は、3月5日から15日間の日程で開催され、追加議案を含む47件を原案通り可決し、19日に閉会しました。

また、市民の皆様も心配されておりました「財政再生団体」への移行、「早期健全化団体」への指定も一気に回避できる見通しとなりました。議会としては今後も引き続き財政運営を厳しくチェックしていく次第であります。

今定例会は、市政執行方針及び教育行政執行方針について、各党派・諸派の代表が、質問を行いました。

（質問・答弁の内容は、発表順で構成され、省略・簡略化されています。）

◆新政クラブ

（獅畑 輝明）

【質問】まちの再生について

①中心市街地の活性化

【答弁】景観に配慮した街並み形成も必要。店舗近代化促進事業を推進中。空き店舗対策は、事業者の確認をし、商工会議所、商店街など関係機関と連携を図りながら有効活用の可能性を検討。

②火まつりについて

【答弁】今年からの場所は、検討中。これまでの伝統を継承しつつ、新たな発想で新たな火まつりを作り上げるチャンス。

【質問】児童生徒の携帯電話所持について

【答弁】携帯電話は、教育活動に直接必要のないもの。学校への持ち込みは原則禁止。全国的な傾向としてのインターネットや携帯電話に起因する事件が多発。本市でも生徒指導上重要課題。



◆知新会

（林 喜代子）

【質問】新年度予算編成にあたって

【答弁】早期健全化基準を下回る事を最大の目標とした。緊急経済問題、財政問題、社会保障問題等、全国市長会等を通じて国などへ要望していく。



【質問】市立赤平総合病院として地域医療を守っていくために

【答弁】全国市長会等様々な場で、要望を発信していく。医師看護師確保対策については、病院と市長部局一丸となって取り組む。

平成20年度二棟八戸の全面改修、平成21年度一棟六戸の新築を行う。

【質問】道州制、定住自立圏構想について

【答弁】複数市町村間における広域連携、市町村合併も含め、当市の将来あるべき姿について、慎重に検討する。

【質問】児童の学力・体力低下と特別支援教育について

【答弁】赤平の教育は常に子供を中心に据えて、教育を考えることを基本としている。特別支援教育については、校内組織を使った学校全体で対策する事で、問題の解決が迅速になった。

◆民主クラブ

（若山 武信）

【質問】財政健全化への見通し

【答弁】行財政改革・その他により、「再生団体」回避とともに一気に健全化団体への移行が高できた。市民の皆様や職員に感謝する。21年度予算は、健全化を維持できる内容。

【質問】市立病院は存続できるか

【答弁】医師の退職、その他により収入が落ち込んだ。今後努力する。経営安定の為に医師・看護師確保への対策を講じている。21年度は内科医の6名体制が見込まれており、

◆公明党

（五十嵐 美知）

【質問】21年度予算と国の総額75兆円の景気対策と当市への効果は

【答弁】総額75兆円の景気対策で赤平市への影響額は「定額給付金 2億2744万円」「子育て応援特別手当 536万円」「地域活性化、生活対策臨時交付金 1億1476万円」など総額4億1968万円。

当市は再生団体回避を絶対的使命感とした実情もあり、独自策も難しかっただけに、生活と雇用を守るための景気回復に向けた予算は、非常に効果的なものだった。

【質問】農林業と環境問題に取り組む考えは

【答弁】農業人口の減少とともに高齢化が進んでいる。今後は、農業生産の主体の米をPRし、「移住・定住」を進めるために、都会の若者、団塊世代など「定住促進事業」や「宿泊体験プロジェクト」など活用し解消に努める。環境問題の取り組みは、地球温暖化防止と森林に対する期待が高まっており、森林整備のため間伐による木材の生産、風倒木の処理による有効利用、植林による水源の確保など、今後は農林業者、関係団体等と連携、協議していく。

（裏面へ続く）



準備が出来次第、定例会の質問答弁内容は、赤平市議会のホームページにも掲載されます。
http://www.city.akabira.hokkaido.jp/gikai/index.html



【質問】大不況問題と国の09年度予算の影響については、国の3段ロケットを発射しても80億円越す国民負担と考えると、後の消費税増税が怖い、「大企業、財界優遇から国民の心温かくしてほしい」これが国民の意思ではないか、財政悪化による市政運営に支障はないか、国の地方財政に対する予算付けがなければ、地方は守れないと思うが考えは

【答弁】昨春秋以降、日本財政はかつてないスピードで悪化している。予算編成に当たっては、国の生活防衛のための緊急対策で48名の新規雇用などを見込んでいます。新年度予算については、繰越事業を含め重点をおいた予算となっている。

【質問】教育について、国の教育基本法、関連三法案の改正などによる当市への影響は

<会派構成>

知新会 北市勲・林喜代子・太田常美
新政クラブ 鎌田恒彰・獅畑輝明・植村真美
民主クラブ 若山武信・谷田部芳征

<諸派>

共産党 穴戸 忠
公明党 五十嵐 美知



新しい議会人事

特集記事 No.5

★議長 獅畑 輝明 ★副議長 林 喜代子
★監査委員 鎌田 恒彰 ★農業委員 谷田部 芳征

☆総務文教常任委員会 (6名)

委員長 五十嵐美知
副委員長 植村 真美
委員：北市勲・獅畑輝明・若山武信・谷田部芳征

総務課、税務課、企画財政課、選挙管理委員会、消防本部、会計課、監査委員、教育委員会、議会事務局他委員会の所管に関する事項を担当する委員会です。

☆社会経済常任委員会 (6名)

委員長 穴戸 忠
副委員長 太田 常美
委員：北市勲・林喜代子・鎌田恒彰・若山武信

市民生活課、社会福祉課、介護健康推進課、産業課、建設課、上下水道課、市立赤平総合病院、農業委員会の所管に関する事項を担当する委員会です。

☆議会運営委員会 (6名)

委員長 若山武信
副委員長 北市 勲
委員：太田常美・鎌田恒彰・植村真美・谷田部芳征

議会の円滑な運営を図るために設置される委員会です。

☆行財政改革調査特別委員会 (9名)

委員長 若山武信
副委員長 北市 勲
委員：太田常美・林喜代子・鎌田恒彰・植村真美・谷田部芳征・穴戸忠・五十嵐美知

行財政改革について専門的、集中的に調査するため、臨時的に設置された委員会です。

議会の動き

<12月>

- 12/29 社会経済常任委員会
・市立赤平総合病院の経理状況について (11月分)
- 12/29 行財政改革調査特別委員会
・市立赤平総合病院改革プランの策定について

<1月>

- 1/27 社会経済常任委員会
・市立赤平総合病院の経理状況について (12月分)

<2月>

- 2/16 総務文教常任委員会
①教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価の報告②テニスコートの取扱いについて③中学校通学区域の変更について

2/24 社会経済常任委員会

- ①市立赤平総合病院の経理状況 (1月分) ②公共施設アスベスト等分析調査結果 ③公営住宅等の計画について

2/24 議会運営委員会

<3月>

- 3/ 2 議会運営委員会
- 3/ 5 第1回定例会 (~19日)
- 3/ 6 総務文教常任委員会
①赤平市立幼稚園設置条例の一部改正②過疎地域自立促進計画の一部変更③財産の取得・財産の処分について
④遊休教育施設の活用について
- 3/ 6 社会経済常任委員会
①乳幼児等医療費助成に関する条例及び重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費助成に関する条例の改正②保養センターと赤間地区共同浴場の指定管理者について③障害福祉計画の策定④福祉灯油購入費助成事業の進捗状況⑤第4期赤平市高齢者保健福祉計画について など
- 3/13~3/18 予算審査特別委員会

編集後記

みなさん こんにちは☆

もう少しで、雪もとけ、小鳥のさえずりや桜の開花も近い季節がやってきますね。赤平の財政状況も徐々に回復傾向にあり、さらに皆さんと一緒に知恵を出し合って、住みよい赤平にしていきたいと思います。このかわら版も5回目の発行となりました。今後も皆様からのご意見を参考に「見やすい」「わかりやすい」紙面づくりに努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

かわら版編集委員 穴戸・谷田部・五十嵐・太田・植村